

## 強じんな「<sup>うま</sup>く<sup>くに</sup>に」 三重

### 1. はじめに

三重県は、日本のほぼ真ん中に位置し、日本人のこころのふるさととして親しまれている「伊勢神宮」や世界遺産「熊野古道」、旧東海道の関宿、リアス式海岸など、美しい自然や名所旧跡が数多く存在しています。こうした自然や文化、海・山の食材に恵まれていることから、「美し国」と言われてきました。

今回は、本県が進めている社会資本整備についてご紹介します。

### 2. 国土強靱化の推進

本県では、昨年度スタートした「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、管理施設への主な対策について計画的に推進するため、道路・河川・海岸・砂防・都市分野において18項目の「5年後の達成目標」を定めました。道路において、緊急輸送道路の法面や盛土に小規模の亀裂が存在するなど、豪雨時に崩壊する恐れがある箇所が確認されており、このような災害リスクがある箇所について対策を進めています。他にも渡河部橋梁の流失防止対策、橋梁の耐震補強、未改良区間の整備を行っています。河川では、大型水門・樋門の耐震化を行っています。これまでの水門は、比較的発生頻度の高い地震（レベル1地震動）をもとに設計されていますが、南海トラフ地震等の大規模地震が発生した際に、柱等が損傷し、ゲートが開閉できない等のリスクがあります。そこで、将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震（レベル2地震動）に耐えられるように対策を進めています。その他にも、ゼロメートル地帯における堤防の耐震化、越水しても壊れにくい堤防強化対策、全ての県管理河川における洪水浸水想定区域図の作成を行っています。

### 3. 川上ダム建設事業（伊賀市）

川上ダムは、一級河川淀川の支川で三重県伊賀市の上野盆地を流れる一級河川淀川水系木津川の支川である前深瀬川において、治水・利水ダムとして、独立行政法人水資源機構により事業を進めていただいています。

木津川上流域の治水対策は、川上ダム建設事業、国土交通省が実施する上野遊水地事業、三重県が実施する河川改修事業が一体となり、木津川沿川や上野盆地の洪水被害を軽減して、住民の生命や財産を洪水被害から守ることをめざしています。

昭和56年度に始まった川上ダム建設事業は、令和3年4月の堤体コンクリートの打設完了を経て、現在は今年度内の事業完了に向けた試験湛水を実施中です。



川上ダム

### 4. 亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業等（亀山市）

亀山駅周辺は、鉄道の開業を機にまちの賑わいの中心的役割を担ってきました。しかし、モータリゼーションの進展や近隣市への大規模商業施設の立地などにより、駅の乗降客数が減少し、駅周



三重県知事 一見 勝之

辺においても、空き店舗の増加や建物の老朽化が進み、市の玄関口としての魅力が低下している状況です。当事業では、市街地再開発事業等で良質な駅前広場や居住環境を整備すると共に、立地適正化計画にて都市機能誘導区域に位置付けられている本地区へ、郊外の図書館の移転を進めています。これにより、駅周辺空間で新たな賑わいを創出し、市の魅力溢れる玄関口の再生をめざしています。



亀山駅周辺再開発事業

## 5. 都市計画道路外宮度会橋線無電柱化推進計画事業（伊勢市）

伊勢市は、「お伊勢さん」として親しまれている伊勢神宮をはじめとした歴史・文化を全身で感じることができるまちです。その外宮周辺は、多くの観光客が訪れるとともに地域の主要な交通結節点となっています。当事業では、台風や地震時の都市部における緊急輸送道路の防災機能の向上に加え、市街地における快適な道路空間の確保と都市景観の向上を図るため、都市計画道路外宮度会橋線の「外宮前」を中心に、電線共同溝による電線類の地中化を実施しています。



無電柱化施工前



無電柱化施工後

## 6. おわりに

県民の皆さんの命と暮らしを守るための取組をしっかりと進めるとともに、魅力ある観光資源や、美しく豊かな自然、道路網の整備によるさらなる立地環境の向上などにより、「強じんて多様な魅力あふれる『美し国』」を実現するために、県民の皆さんと共に取組を進めていきたいと思えます。

令和5年1月、本県において一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会の開催が予定されています。現場研修会では、川上ダム建設事業、亀山駅周辺の市街地再開発事業、伊勢市の無電柱化推進計画事業などをご覧いただく予定です。視察していただく伊勢を始めとして、本県には、魅力あふれる観光地・グルメ・文化等がたくさんございます。皆様のご来県を心よりお待ちしております。